

学者村たより

平成30年7月1日発行 通巻14号 発行：学者村 景観を考える会事務局

編集人：青山忠英（4期 A-109）

◎恒例“クリーン・ウォーク”は今年も楽しいイベントになりました

好天に恵まれて今年も沢山の方々にご参加いただきました。中には中山道の源道を初めて知ったという方もおられ、それなりに面白い体験になったようです。源道周辺の不法廃棄物が多かったのは残念なことでもありますが、個人的には結構「やった気がした」ゴミ拾いになりました^^;

また今年も同日開催の新しい企画として、交流会＜長和町を味わう♪＞を行うことができました。「マルメロの駅ながと」にできた小さな物産館「とびっ蔵」で販売している長和町の奨励食品の数々を試食、購入できるという出前イベントで、長和町役場 産業振興課特産品開発係の職員さんに、休日出勤で協力していただきました。試食分については景観を考える会が5,000円分の負担させていただきました。ダッタンそば茶で乾いた喉を潤しましたが、美味しくて何杯もお代わりをさせていただきました。



中山道の源道を歩きました



とにかくひどすぎますね

5月4日



交流会＜長和町を味わう♪＞ 美味しいものがいっぱい



◎景観を考える会は来年度から変わります！

「学者村景観を考える会」は十余年の活動にひとまず区切りを付け、次年度（2019年度）より新しい会として出発しようと考えております。これまで様々な形で会の運営にご理解、ご協力をいただきました皆様、本当にありがとうございました。引き続き新しい会にも多くの皆さまのご賛同、ご理解をいただけましたら幸甚です。

新しい会と言いましても、これまでの景観を考える会と全く違うことを目指そうということではありません。時代の変化、学者村別荘地を取り巻く情勢の変化に対応するにはどうしたらよいか？事務局メンバーはもちろん考えましたが、色々なご意見を多くの方々より頂戴しました。そこから得た結論的なものは以下の通りです。

- ★「景観」という括りだけでは今後の情勢に対応しにくい
- ★自治会・町内会的なもの（面倒なもの）は多くの方が望まない
- ★永住者と別荘利用者、借地と所有地などの立場により相容れない要素がある
- ★しかし、何がしかの組織がないと、重要な問題に直面した際に困ることも多い
- ★このまま学者村別荘地を荒廃させるわけにはいかない
- ★新しい会は別荘利用者も定住者も全部包括した「信州長和町 学者村別荘地オーナーの会」という位置付けにし、会の名称もそのようなものにしたい

◎この夏に「総会」的な会を開催します！

景観を考える会を上記の結論にできるだけ対応できるよう変革するに当たって、やはりこれまでご賛同あるいはご批判をいただいて来た皆様のご意見をさらに伺う必要があります。またその上で、大きな方針を決定するには少人数で定住者中心の例会での検討、決議だけでは不十分です。

そこでこの夏、できるだけ多くの皆様に参加できるような時期に総会的なレベルの例会を開催します。詳細は未定ですが8月17日（金）に学者村内で行いたいと思います。当日ご都合の付く方は是非足をお運びください。詳細は改めてWEBサイト他でお知らせ致します。また、この件に関するご意見、ご要望はいつでも下記連絡先にて承っております。

学者村別荘地の荒廃を防ぎ、世代交代でも過大な負担なく受け継がれていくように、皆様のお知恵も出していただき、行政や地権者の皆様とも連携し或いは議論をして、よりよい学者村別荘地を創りだして行きましょう！

◎景観を考える会のWEBサイトはこちらです

<http://www.kokuyou.ne.jp/~arsidean>

学者村 景観を考える会事務局連絡先：葉山盛雄（1期 C50）

電話：050（3583）6619 メール：arsidean@kokuyou.ne.jp